



# 右左折する車両は横断中の歩行者を保護しているか？



Q1

右左折して横断中の歩行者に接近した車両（四輪車・二輪車）164台中、歩行者を優先せずに通過したのは何%だったでしょうか？

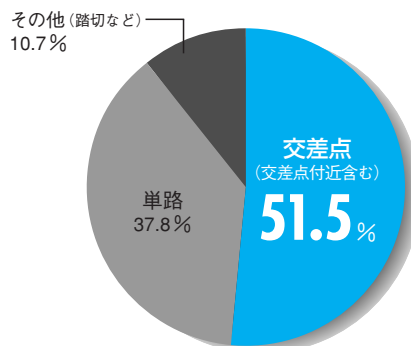
**Why**  
人対車両の事故の約半数は交差点で起きている

平成23年の人対車両の交通事故件数（6万5144件）を道路形状別にみると、交差点（交差点付近含む）が約半数（51.5%）を占めている。信号機（歩車分離式除く）のある交差点においては、歩行者が横断すると同時に同方向の車両も右左折するため、右左折車と歩行者が交錯し事故が起こる可能性がある。そこで今回は信号機のある交差点で右左折する車両（四輪車・二輪車）が横断する歩行者を保護しているかを観察した。



観察場所は片側3車線の国道246号

●人対車両の道路形状別交通事故件数（平成23年・構成率）



※出典：公益財団法人交通事故総合分析センター「交通統計平成23年版」

と片側1車線の駒沢公園通りが交わる地点。観察を行った時間帯は、乗用車、タクシー、トラック、バス、二輪車など多様な車両が往来していた。また、子どもから高齢者まで幅広い層の歩行者や自転車

**A1** 実際の観察から

★Q1の回答  
横断中の歩行者を優先しなかった車両は164台中17台(10.4%)



歩行者が渡りきるのを待たずに、その前を横切るクルマ

1時間半の観察の間に、青信号で横断中の歩行者に接近した車両は四輪車156台、二輪車8台の164台。このうち、横断中の歩行者を優先しなかった車両は四輪車15台、二輪車2台の17台だった。

歩行者を優先しなかったのは、四輪車が右前方から横断してくる歩行者を待たずに、その前を横切ってしまうケースがほとんどだった。

●右左折する車両の歩行者保護の状況

	四輪車	二輪車	合計
歩行者を優先させて一時停止した車両	141 (90.4%)	6 (75.0%)	147 (89.6%)
歩行者を優先せずに通過した車両	15 (9.6%)	2 (25.0%)	17 (10.4%)
合計	156	8	164

●歩行者の信号遵守の状況（歩行者817人中・自転車618台中）

	歩行者	自転車
青点減になってから横断を開始	40 (4.9%)	30 (4.9%)
赤になってから横断を開始	12 (1.5%)	12 (1.9%)
合計	52 (6.4%)	42 (6.8%)



赤信号になってから走って横断する親子

★Q2の回答  
52人(6.4%)が青点減になった後に横断を開始した

1時間半の観察の間に、観察した交差点を横断した歩行者は817人、自転車は618台。多くの歩行者・自転車が信号を守っていたが、青点減になった後に横断を開始した歩行者は52人(6.4%)、自転車は42台(6.8%)。このうち赤信号になってから横断した歩行者は12人、自転車は12台。赤信号になったにもかかわらず、親子が子どもの手を引きながら走って横断するケースも見られた。その一方で、一人で歩く小学生の多くが青点減の時は無理をせずに次の青信号まで待っていた。

**Advice**

青点減になってから  
駆け込んでくる  
歩行者・自転車に注意！



右左折しようとするクルマの前を、スピードを出して走り抜ける自転車も見られた

この交差点を通過する右左折車は総じて交差点にゆっくり進入し、横断中だけでなく横断歩道に歩行者や自転車が入りそうな場合にも停止して歩行者を優先させていた。左折するトラックで助手席に同乗者がいる場合は、その同乗者が大きく顔を動かして左後方を確認しながら交差点に進入していた。歩行者を優先しなかった車両の多くは乗用車であった。

この交差点では歩行者・自転車専用の信号が青になると、信号待ちをしていた歩行者・自転車が横断を開始し、大半が渡り終える。その後、青点減が始まってから横断歩道に向かって走ってくる歩行者やスピードをゆるめずに横断する自転車がしばしば見られた。交差点を右左折しかけた四輪車が、そうした歩行者や自転車が前方にあらわれて止まるといった例もあった。

また、横断中に携帯電話の画面を注視したり、通話している歩行者は817人中29人(3.5%)、自転車利用者は618人中5人(0.8%)だった。携帯電話を使用している歩行者は携帯電話に気をとられ、信号や周囲の状況を確認せず、他の歩行者の動きにつられて横断を始めていくように思われた。

ドライバーやライダーは交差点を右左折する時、歩行者・自転車専用の信号が青点減を開始すると、急いで横断する歩行者・自転車があらわれることを予測しておくことが必要である。さらに、赤信号になっても、横断歩道に近づくと、歩行者・自転車がいないか十分に確認して交差点を通過してほしい。

一方、歩行者・自転車は横断を始める前に信号が青点減になった場合、横断を始めてはいけなく、走って横断するのはなく、次の青まで待つのが安全である。また、青信号であっても右左折

Q2

交差点を横断した歩行者817人のうち、歩行者用信号機が青点減になった後に横断を開始した歩行者は何%だったでしょうか？

**A2**

実際の観察から



携帯電話を使用しながら横断する歩行者(写真上)。子どもと手をつなぎ、携帯電話を注視している母親(写真下)

するクルマが不用意に曲がってくることもある。そのため、歩行者は道路横断時に携帯電話の使用など「ながら歩き」を控え、周囲の状況をよく確認しながら渡ることが自分の身を守ることに繋がる。